

正副2部用意
(審査後、届出受理書と共に副を返却)

二重線で消して訂正すること
(修正液、砂消しは使わない)

記載例

様式第1号の3

景観計画区域内における行為の届出書

景観法第16条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。
この届出書及び添付図書に記載した事項は、事実と相違ありません。

(宛先) 所沢市長

令和8年 4月 1日

届出者は「行為者」であって、「土地所有者」、
「権利者」、「施工会社」ではない

市が届出書を受理した日から30日を経過した
後でなければ、工事着手できない
(例) 1か月が30日の場合

月	火	水	木	金	土	日
1 (受理日)	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1 (30日目)	2 (以降着手)	3	4	5

行為者 住所 埼玉県所沢市並木〇丁目〇番地の〇
氏 名 株式会社 トころん不動産
代表取締役 所沢 太郎
電話番号 04-2998-0000

法人その他の団体
電話番号、名称及び

用途地域によってゾーン区分が分かれる
○商業系市街地景観ゾーン
所沢駅、西所沢駅、新所沢駅、小手指駅、
狭山ヶ丘駅、東所沢駅周辺の商業・近隣商業地域
○工業・産業系市街地景観ゾーン
工業地域
○農地・丘陵地景観ゾーン
用途無指定
○住居系市街地景観ゾーン
上記以外

行為の場所

区域の別

- ☒ 住居系市街地景観ゾーン
☐ 商業系市街地景観ゾーン
☐ 工業・産業系市街地景観ゾーン
☐ 農地・丘陵地景観ゾーン

地名地番

所沢市□□町〇丁目〇番〇、同番△

対象地番を全て記載

行為の期間

着手予定日

令和8年 5月 2日

完了予定日

令和9年 8月 2日

建築確認申請と同様の区分に
する

区分

☒ 新築

☐ 増築

☐ 改築

☐ 移転

☐ 外観の変更

☐ 修繕

☐ 模様替

☐ 色彩変更

届出対象となる全ての建築物の
用途、高さ、階数を記載
(駐輪場等の付属施設を含む)

用途

- ① 共同住宅
② 駐輪場

高さ

- ① 18.0
② 2.1 m

階数

- ① 6
② 1 階

敷地面積

5,737.50 m²

建築面積

960 m²

延べ面積

5,500 m²

工業・産業系大規模建築物の該当の有無

※「工業・産業系大規模建築物」とは、工場・倉庫等の用途に供する建築物で、建築面積3,000m²以上のもの又は高さが10mを超えるものをいう。

☐ 該当

☒ 非該当

建売分譲等の開発敷地の場合
上段：当該敷地面積
下段：一団地の土地
(ごみ置き場を除く)

敷地面積

120.00m²

計 720.00m²

類

☐ 工作物

区分

☐ 新設

☐ 増築

☐ 改築

☐ 移転

☐ 外観の変更

☐ 修繕

☐ 模様替

☐ 色彩変更

用途

高さ

築造面積

届出対象となる建築物の建築
面積・延べ面積の合計を記載
※緩和措置は考慮しない

届出対象となる工作物
(高さ10mを超えるもの)
が無ければ記載不要

「工業・産業系大規模建築物」
の「該当」又は「非該当」に
チェックをする

複数棟ある場合は
このページを棟ご
とに作成する

共同住宅

行 為 の 種 類	建 築 物 ・ 工 作 物	第一 立 面 方 角 (西)	区 分						割 合
			彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)
					基調色	N	8.5		10.0
						5Y	8.0	1.0	12.8
						5Y	6.5	1.0	35.5
					補助色	2.5PB	7.0	2.0	3.9
					10YR	3.0	1.0	16.5	
			屋 根						
			点 滅 光 源		☐ 有		☒ 無		
			屋 外 広 告 物		☐ 有		☒ 無		
			彩色が施され ていない部分		素 材 名		ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺		21.3
			素材でも黒や茶等の色の選択が可能な ものは、彩色があるものとして扱う						100
		第二 立 面 方 角 (北)	区 分						割 合
			彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)
					基調色	N	8.5		38.5
						5Y	6.5	1.0	17.8
						5B	6.0	2.0	6.6
					補助色	10YR	3.0	1.0	11.5
					強調色	5B	4.0	4.0	3.0
			屋 根						
			点 滅 光 源		☐ 有		☒ 無		
			屋 外 広 告 物		☐ 有		☒ 無		
			彩色が施され ていない部分		素 材 名		ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺		22.6
			計						100
		第三 立 面 方 角 (東)	区 分						割 合
			彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)
					基調色	N	8.5		8.0
						5Y	8.0	1.0	15.4
	5Y				6.5	1.0	26.6		
	5B				6.0	2.0	2.1		
補助色	10YR				3.0	1.0	14.5		
強調色	5B		4.0	4.0	1.1				
屋 根									
点 滅 光 源			☐ 有		☒ 無				
屋 外 広 告 物			☐ 有		☒ 無				
彩色が施され ていない部分			素 材 名		ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺				
計									
第四 立 面	区 分						割 合		
	彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)		
			基調色	N	8.5		6.6		
				5Y	8.0	1.0	1.0		
				5Y	6.5	1.0	52.1		
				5B	6.0	2.0	0.9		
			補助色	10YR	3.0	1.0	19.4		
	屋 根								
	点 滅 光 源		☐ 有		☒ 無				
	屋 外 広 告 物		☐ 有		☒ 無				

割合はマンセルごとの記載又は基調色、補助色及び強調色ごとの合計を記載

屋根は割合の算定不要

建築物に屋外広告物がある場合は、「有」にチェックし割合を記載

各面において、補助色の割合の合計は20%以下、強調色の割合の合計は5%以下とし、かつ、補助色と強調色の合計の割合は20%以下とする

		方角 (南)	彩色が施されていない部分	素 材 名	ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺	20.0
				計		100

- 備考 1 該当する□内に、印を付すこと。
- 2 彩色が施されていない部分の素材名の欄には、外観を仕上げる素材が、着色していない石、土、木、レンガ及びコンクリート等の場合にその素材名を記載すること。

色彩基準に該当する建材等（一般的な建材以外で注意を要するもの）

- 彩色されている建材（ガルバリウム鋼板、アルミ型材、カラーベストコロニアル等）
- 玄関扉や倉庫のシャッター等
- 既製品の駐輪場やゴミ置場

色彩基準に該当しないもの

- 外壁等：着色していない石、土、木、レンガ、コンクリート等の素材
：ピロティ（駐車場等）で外壁がないもの
- 屋根：彩色していない金属材又は素焼瓦等の素材で仕上げているもの

大規模修繕等の外観の変更で施工対象外の部分がある場合は、「彩色が施されていない部分」に「当該部分名称（施工対象外）」と記載した上で、「彩色が施されていない部分」の割合に当該部分の割合を含める

（例）タイル（施工対象外）

複数棟ある場合は
このページを棟ご
とに作成する

駐輪場

行 為 の 種 類	建 築 物 ・ 工 作 物	第一立 面 方角 (北)	区 分						割 合 単 位 (%)	
			彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度		
					基調色	5Y	8.0	2.0	77.7	
					屋 根	N	3.0			
			点 滅 光 源			☐ 有 ☒ 無				
			屋 外 広 告 物			☐ 有 ☒ 無				
			彩色が施され ていない部分		素材名	コンクリート			22.3	
			計							100
			第二立 面 方角 (南)	区 分						割 合 単 位 (%)
		彩色が施され ている部分		色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度		
					基調色	5Y	8.0	2.0	74.1	
					屋 根	N	3.0			
		点 滅 光 源			☐ 有 ☒ 無					
		屋 外 広 告 物			☐ 有 ☒ 無					
		彩色が施され ていない部分		素 材 名	コンクリート			25.9		
		計							100	
		第三立 面 方角 (西)		区 分						割 合 単 位 (%)
			彩色が施され ている部分	色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度		
					基調色	5Y	8.0	2.0	84.0	
					屋 根	N	3.0			
			点 滅 光 源			☐ 有 ☒ 無				
			屋 外 広 告 物			☐ 有 ☒ 無				
			彩色が施され ていない部分		素 材 名	コンクリート			16.0	
			計							100
			第四立 面 方角 (東)	区 分						割 合 単 位 (%)
		彩色が施され ている部分		色 (マンセル値) 彩		色 相	明 度	彩 度		
					基調色	5Y	8.0	2.0	84.0	
					屋 根	N	3.0			
		点 滅 光 源			☐ 有 ☒ 無					
屋 外 広 告 物				☐ 有 ☒ 無						
彩色が施され ていない部分		素 材 名		コンクリート			16.0			
計							100			

備考 1 該当する□内に、印を付すこと。
2 彩色が施されていない部分の素材名の欄には、外観を仕上げる素材が、着色していない石、土、木、レンガ及びコンクリート等の場合にその素材名を記載すること。

景観形成基準対応説明書
建築物の建築等に関する景観チェックシート(住居系市街地景観ゾーン)

照合欄は無記入で届出

行為の場所	区域の別	住居系市街地景観ゾーン		照合
	地名地番	所沢市□□町○丁目○番○、同番△	対象地番を全て記載	
行為の種類	建築物の建築等	1. 新築 2. 増築 3. 改築 4. 移転 5. 外観の変更		□
		5—1. 修繕 5—2. 模様替 5—3. 色彩変更		
		建築確認申請と同様の区分にする		
勧告・変更命令基準		所沢市ひと・まち・みどりの景観計画の色彩基準に適合している。		□

- ※ 1 該当する項目、配慮した項目に○又は内容を記入すること。（複数可）
2 照合欄には、記入しないこと。

建築の企画構想において、下の4つ視点を踏まえて検討する
(設計時における自己チェック)

景観形成基準への対応の検討にあたって

所沢市ひと・まち・みどりの景観計画における「景観づくりの視点」を踏まえ、検討するものとする。
(詳しくは「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」P28～P32を参照。)

景観づくりの視点
(「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」より抜粋)

視点1 周辺の景観や景観資源の保全・活用

周辺の景観の特性や、みどり、河川、眺望などのとことこ景観資源を含む景観上重要な要素を守り、活かす計画を構想します。

視点2 周辺からの見え方への配慮

遠景・中景や近景、それぞれの見え方や、施設の計画によって周辺の景観がどのように変化するかを予想し、全体として調和のとれた景観づくりを構想します。

視点3 地域への貢献

みどりやにぎわいの創出など、地域のまちづくりに寄与する景観づくりを構想します。

視点4 時間の経過への配慮

一日の時間や天候の変化、四季の移ろいといった時間の経過に対する配慮や、時間の積み重ねによって、より良くなる景観づくりを構想します。

該当する具体的内容に丸を付す
その他の場合は、具体的な配慮内容を記載

照合欄は無記入で届出

配慮事項		配慮した具体的内容※1	※2 照合	
配置	とことろ景観資源と調和させる。	1. 景観資源に面して緑地を設けている。 2. 景観資源に面してゆとりを設けている。 3. その他(南側河川に対する圧迫感軽減のため南端1スパンは5階建てにしている)	☐	
	壁面の位置の連続性や隣棟間隔の確保等、周辺の街並みと調和させる。	1. 壁面の位置を連続させている。 2. 隣棟間隔を確保している。 3. その他()	☐	
	既存の樹木は、できるだけ残すような建築物の配置とする。	1. 既存の樹木を残している。 2. 既存の樹木と同じ樹種を植えている。 3. その他(既存以上の緑地面積を確保する)	☐	
形態意匠	外壁・屋根等	外壁は、分節化するなどし、圧迫感を抑え、単調にならないようにする。	1. 形態・デザインで分節化している。 2. 圧迫感を軽減させる配慮をしている。 3. その他()	☐
		外壁・屋根等の素材等は、周辺の街並みやみどりと調和させる。	1. 素材に配慮している。 2. デザイン・色彩に配慮している。 3. その他()	☐
		屋根又は軒の高さは、周辺の街並みとの連続性をつくる。	1. 高さを統一している。 2. 周辺の高さに配慮している。 3. その他()	☐
		中高層建築物は、遠景・中景からの見え方を工夫する。	1. 上層階のデザインを工夫している。 2. 遠景・中景からの見え方に配慮している。 3. その他(南端1スパンは5階建てにしている)	☐
	屋外設備等	建築物との一体化やルーバー等の設置など、周囲からの見え方を工夫する。	1. 見えない位置に配置している。 2. 目隠しを設置している。 3. その他()	☐
	外構・植栽	道路や河川等に面する部分は植栽を設ける。	1. 道路等に面する部分に植栽を設けている。 2. スペースや庭を設けている。 3. その他()	☐
		工業・産業系建築物の敷地の外周部は、中高木の植栽等により、緩衝緑地を設ける。	1. 中高木を植栽している。 2. 生垣を設けている。 3. その他()	☐
	屋外広告物	屋外広告物は、大きさや形をそろえ、設置位置を集約する。	1. 形態等の統一を図っている。 2. 集約化を図っている。 3. その他(広告物は設置しない)	☐
	照明	屋外に設置する照明は、周辺に影響しないよう工夫し、点滅する光源は使用しないものとする。	1. 点滅光源は使用していない。 2. 周辺への影響に配慮している。 3. その他()	☐
	色彩	周辺の建築物等の色彩を考慮し、街並みやみどりと調和させる。	1. 基調色は周辺を考慮している。 2. 補助色は周辺に配慮している。 3. その他()	☐
		主要な部分は、暖色系の低彩度の色彩を基本とし、みどり豊かな住宅地に調和し、穏やかで落ち着いた感じられる色彩とする。	1. 暖色系を基調としている。 2. みどりとの調和に配慮している。 3. その他()	☐
		外壁の色彩は、基調色と補助色の配色のバランスを整える。	1. 配色のバランスに配慮している。 2. 補助色の使用面積に配慮している。 3. その他()	☐
		商業系建築物、工業・産業系建築物の基調色は、彩度(鮮やかさ)を抑える。	1. 彩度に留意している。 2. 周辺から目立たないように配慮している。 3. その他()	☐

対象外の欄には斜線を付す

委任状

私は、景観 太郎を代理人と定め、下記に関する
権限を委任します。

代理人

住所 所沢市〇〇町△△番地の□

氏名 景観 太郎

電話番号 04-□□□□-▽▽▽▽

記

景観法、所沢市ひと・まち・みどりの景観条例及び所沢市ひと・まち・みどりの景観条例施行規則並びに所沢市ひと・まち・みどりの景観計画に基づく行為の届出等に関する一切の権限

行為の場所：所沢市□□町〇丁目〇番〇、同番△

対象地番を全て記載

(例) 所沢市□□町〇丁目〇番〇、同番△
所沢市並木□-□-□、-△

令和 8 年 3 月 3 1 日

申請人

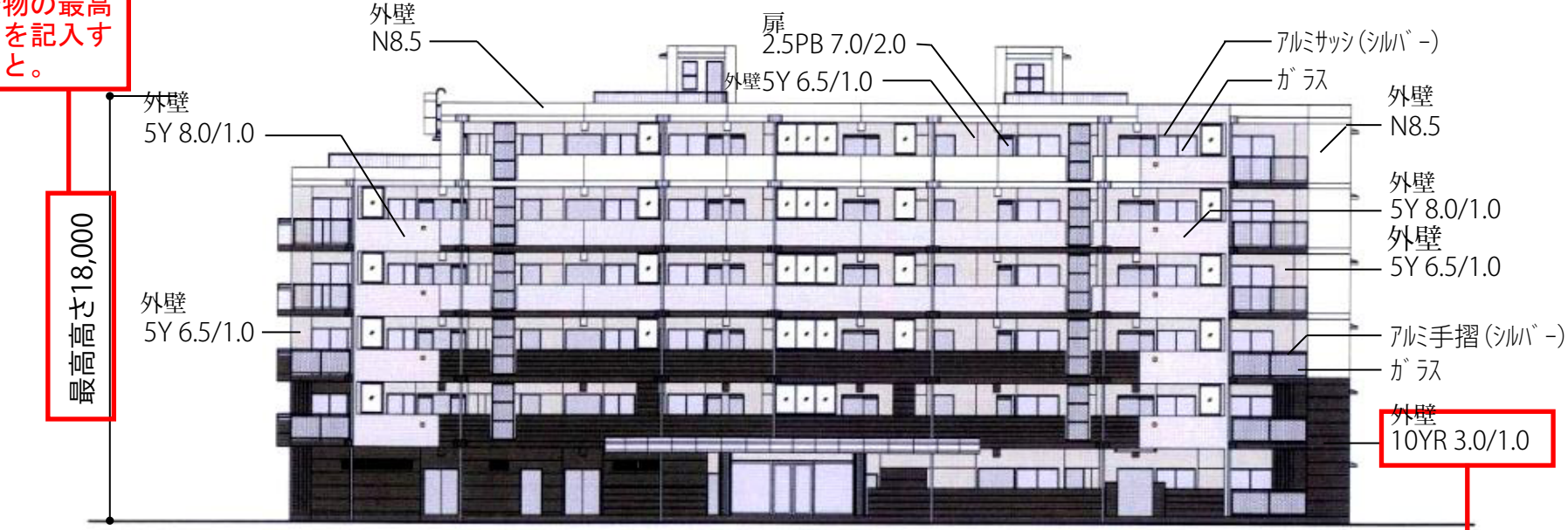
住所 所沢市並木〇丁目〇番地の〇

氏名 株式会社 トころん不動産
代表取締役 所沢 太郎

共同住宅 西側立面図

建築物の最高高さを記入すること。

最高高さ18,000

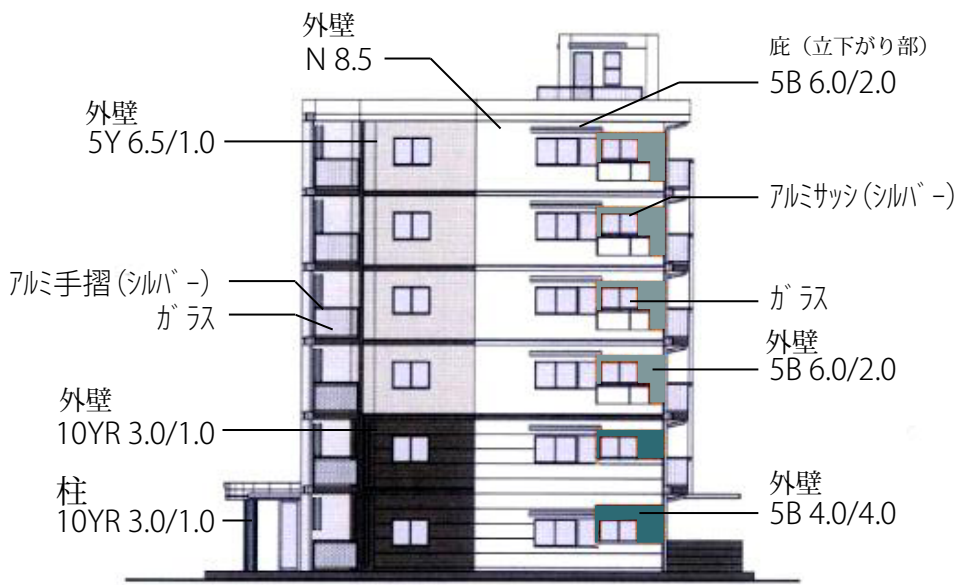


色彩		面積(㎡)	割合(%)
基調色	N 8.5	79.4	10.0
	5Y 8.0/1.0	101.6	12.8
	5Y 6.5/1.0	280.9	35.5
	2.5PB 7.0/2.0	30.6	3.9
補助色	10YR 3.0/1.0	130.9	16.5
彩色が施されていない部分(ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺)		168.8	21.3
計		792.2	100

マンセル値ごとに割合を明示

割合の合計が100%となるようにする

共同住宅 北側立面図



色彩		面積(㎡)	割合(%)
基調色	N 8.5	111.5	38.5
	5Y 6.5/1.0	51.4	17.8
	5B 6.0/2.0	19.3	6.6
補助色	10YR 3.0/1.0	33.2	11.5
強調色	5B 4.0/4.0	8.7	3.0
彩色が施されていない部分(ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺)		65.5	22.6
計		289.2	100

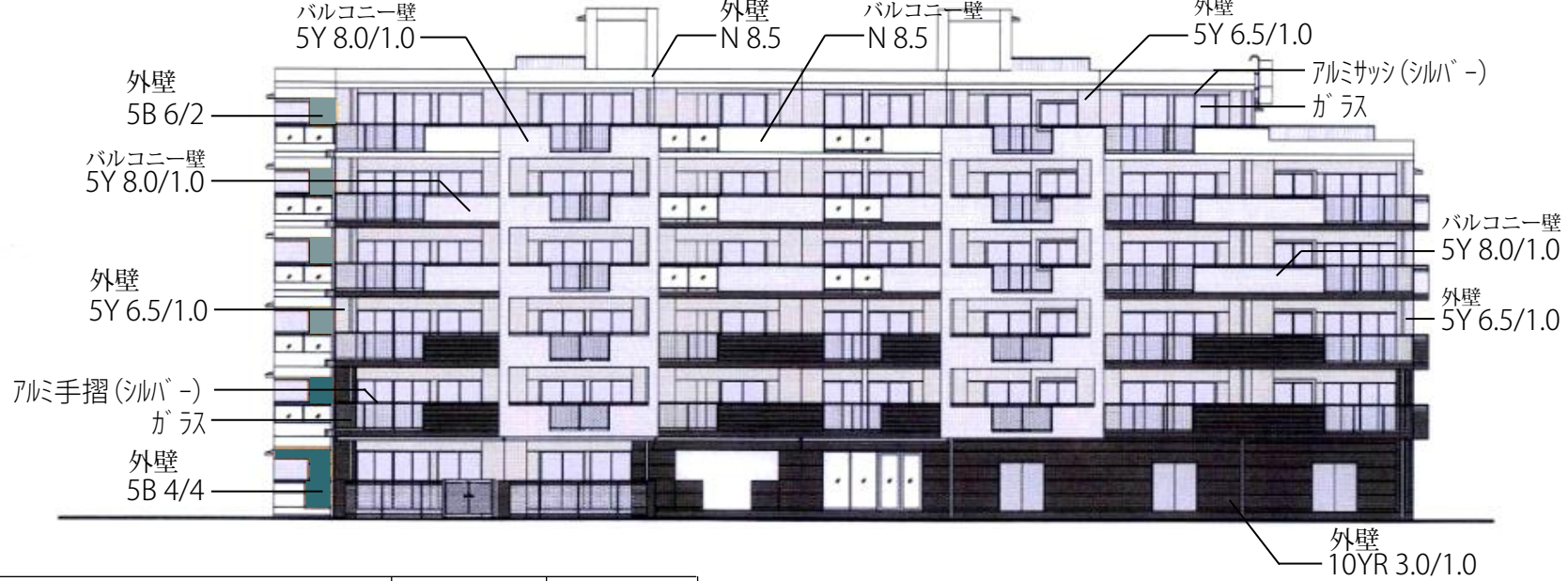
マンセル値を引き出し線で明示

具体の素材を記載

アルミサッシでも、黒や茶等の色味がある場合は色彩基準を適用

具体の素材名を引き出し線で明示

共同住宅 東側立面図



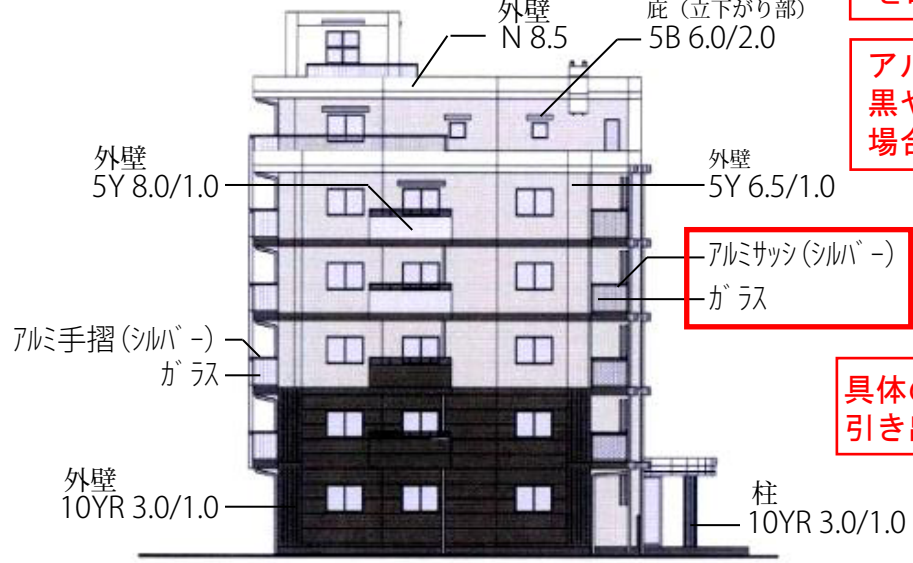
色彩		面積(㎡)	割合(%)
基調色	N 8.5	63.2	8.0
	5Y 8.0/1.0	122.1	15.4
	5Y 6.5/1.0	210.5	26.6
	5B 6.0/2.0	16.9	2.1
補助色	10YR 3.0/1.0	114.9	14.5
強調色	5B 4.0/4.0	8.7	1.1
彩色が施されていない部分(ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺)		255.9	32.3
計		792.2	100

補助色の合計は20%以下、強調色の合計は5%以下とし、かつ補助色と強調色の合計も20%以下とすること。

外壁に使用する色彩のマンセル値(日本工業規格(Z8721)で定める色相、明度及び彩度の三属性の値で表す数値)を表示し、各立面の見付面積に対する各色の面積及び割合を記入すること。

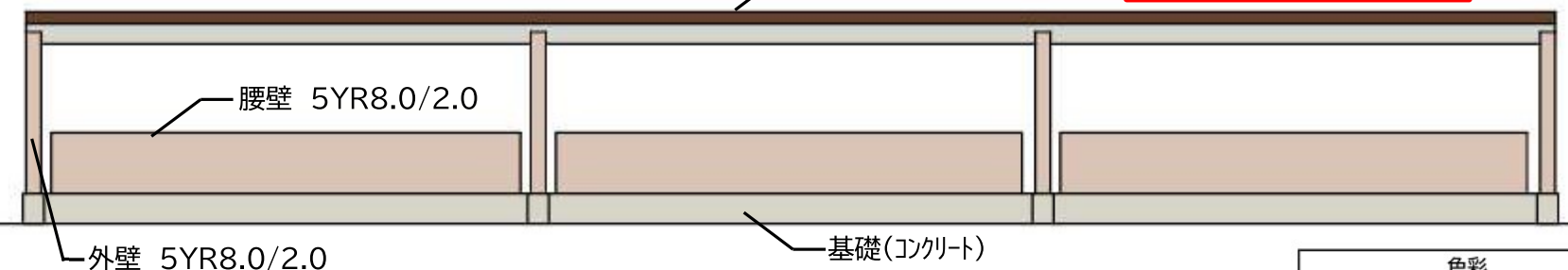
縮尺は100分の1以上
※ただし、適切に表示できない場合には、当該行為の規模に応じた縮尺とすることができる。

共同住宅 南側立面図



色彩		面積(㎡)	割合(%)
基調色	N 8.5	19.2	6.6
	5Y 8.0/1.0	2.8	1.0
	5Y 6.5/1.0	150.8	52.1
	5B 6.0/2.0	2.5	0.9
補助色	10YR 3.0/1.0	56.1	19.4
彩色が施されていない部分(ガラス、アルミサッシ、アルミ手摺)		57.8	20.0
計		289.2	100

駐輪場 北側立面図

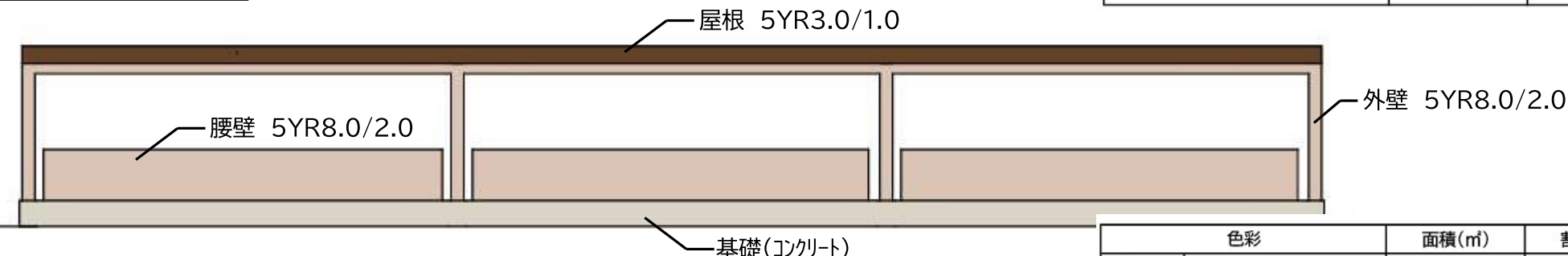


作成例

軒裏は審査対象外になりますが、色彩選定にあたっては、屋根の色彩基準等を参考にしてください。

色彩		面積(m ²)	割合(%)
基調色	5YR8.0/2.0	15.7	77.7
屋根	5YR3.0/1.0		
彩色が施されていない部分(コンクリート)		4.5	22.3
		20.2	100

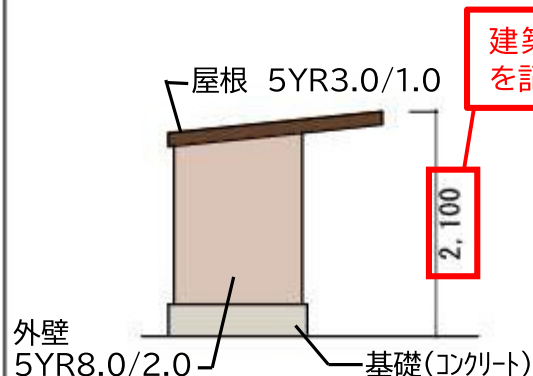
駐輪場 南側立面図



色彩		面積(m ²)	割合(%)
基調色	5YR8.0/2.0	12.9	74.1
屋根	5YR3.0/1.0		
彩色が施されていない部分(コンクリート)		4.5	25.9
		17.4	100

屋根はマンセル値の記載のみで、面積及び割合の算定は不要

駐輪場 西側・東側立面図



建築物の最高高さを記入すること

マンセル値ごとに割合を明示

色彩		面積(m ²)	割合(%)
基調色	5YR8.0/2.0	2.1	84.0
屋根	5YR3.0/1.0		
彩色が施されていない部分(コンクリート)		0.4	16.0
		2.5	100

割合の合計が 100% となるようにする。

外壁に使用する色彩のマンセル値(日本工業規格(Z8721)で定める色相、明度及び彩度の三属性の値で表す数値)を表示し、各立面の見付面積に対する各色の面積及び割合を記入すること

立面図は原則 4 面必要であるが、簡易的な建築物で立面が同形状の場合には、2 面又は 3 面とすることができる。

縮尺は 100 分の 1 以上
※ただし、適切に表示できない場合には、当該行為の規模に応じた縮尺とすることができる。

駐輪場、ゴミ置場棟の別棟の建築物がある場合は、建築物ごとの着色された立面図を添付すること。